



11月 えんだより



ともひび保育園 11月1日発行



秋の恵に感謝

今年は残暑が長く、秋の訪れを今か今かと待ちわびていました。今年からプール開きを1ヵ月前倒しにしましたが6月から暑くなり、避難降園訓練を9月下旬に変更しましたが、やはり暑く内容を一部変更しました。10月中旬には、ソメイヨシノが寒暖の差で咲いてしまったニュースもあり、今季は暑さに振り回された感じです。

しかしやっと過ごしやすい季節の到来です。外で過ごすのも気持ちよく、秋の夜長に読書をするもよし、なんといっても食べ物が美味しい季節です。暑さで疲れた身体を、おいしいものを沢山食べて、疲労回復していきたいと思います。

10月12日のファミリーデーにご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちの楽しそうな姿や頑張っている姿に、元気をたくさんもらいました。乳児組の保護者の皆さんは、幼児組の姿を見て、「数年後の姿が想像」できた方も多くいたのではないのでしょうか。保育園は、異年齢の子どもの姿が見られるのも特徴です。幼児組でも大きくなったらあんな事もできる、こんな事もできると、年長児に憧れる姿も見られます。子どもたちのそのような気持ちも大事に、日々保育をしています。

さて10月22日に4歳児と5歳児がいもほり遠足に行っておきました。年長児は2回目、年中児は初めての参加となります。当日の気温は25度くらいで、動くときにかくくらいの中、畑に向かいました。畑の場所は毎年違うのですが、今年は今までになく遠く、行きはよいよい、帰りは疲れが見られる子もいました。自分で掘ったお芋を袋に入れ、持って広場まで戻りましたが、中には途中で引きずってしまう子もいました。それでも、もうすぐお弁当が食べられると、気合を入れ直して広場まで歩けました。お芋の方は今年は豊作で大きい物もたくさんありました。年にもよりますが、畑にいる虫が気になって芋掘りどころではない年もありますが、今年の子どもたちは虫に慣れていて、全く気にしないで芋掘りに夢中でした。

ある保育園では、保護者連絡メールに突然「今年のいもほり遠足は、中止になります」と来たそうです。理由は、今年の暑さで芋が育たなかったからとあったそうです。このよう事からも、収穫できる事に感謝し、秋のめぐみのこの時期には特に、命ある動植物、また世界を創られた神様に感謝します。



園長 渋谷 順一